

ドクターシェアリングプラットフォーム **LEBER** リーバー

株式会社AGREE 代表取締役 伊藤 俊一郎

提案の背景

スマホで気軽に医師に相談できる。これが当たり前の時代をつくります。国の方針で病院が減少していく今、医療相談アプリ「LEBER」で医師と患者の距離を縮め、日本の未来と皆さんの命を守ります。

緊急性の低い軽症者が病院を受診し、重傷者が実際に救急車を呼んでも、たらい回しに合うといった事が実際に起きており、ICTによる医療の効率化が必要不可欠であると考えます。病院にかかる前に医師がスマホを利用しアドバイスする事で、コンビニ受診を抑制し、また逆に気軽に医師に相談でき重症化する前に早期発見・早期治療につなげるため、社会保障費を大きく削減可能です。さらに医師が市販薬を勧めるという革新的なアイデアによりセルフメディケーション推進に貢献します。

トライアル概要

頭が痛いけど病院に行く時間がない・・・

夜間、急に子供が熱をだしてしまっただけで病院は開いてないし・・・

そんなときに**LEBER**!

アプリで症状をクリック、問診に答えるだけ！医師が症状に合わせた適切なアドバイスを返してくれます。

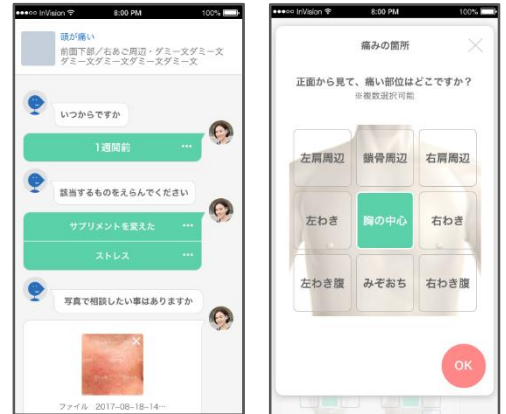
2017年11月 医師用アプリ提供開始・相談医師の募集

2018年1月 つくば市実証実験

- ① つくば市内の病院・診療所における、問診アプリとしての無料配布
- ② レセプトデータ分析により、つくば市の医療費の推移を確認
- ③ つくば市内(株)ウエルシア様とのセルフメディケーション啓蒙活動

2019年7月 新潟市実証実験

2019年12月 つくば市レセプトデータより医療費減を確認



期待される効果・実現する未来社会

医療の効率化

大病院への集中や、過度のコンビニ受診を減らすことが可能。また、はじめから適切な医療機関を選ぶことが可能となり、たらい回しもなくなる。

セルフメディケーションの推進

医師の一般医薬品への理解を促し、過度の医療医薬品使用を是正する。薬剤師の役割をサポートする。国の試算では年間約10兆円の削減が可能。

早期発見・早期治療

医師に気軽に相談できるため、重大な疾患の初期症状の早期発見につながる。それにより、医療費の大幅な削減に寄与できる。



平成29年度つくば市Society 5.0社会実装トライアル事業